近年、長門市は「焼き鳥のまち」としても知られ、昨年行われた「やきとり JAPAN フェスティバル」には5万人以上が来場しました。今年も9月14日から、各地の“ご当地焼き鳥”を楽しめる「西日本やきとり祭り」が開催されます。また、地元の飲食店や温泉ホテル等でも、「長州黒かしわ」を用いたメニューが提供されています。
自然美を望みながら、絶品グルメに温泉にと、山口県に遊びに行きたくくなりますね。

「長州黒かしわ」の詳細：
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/register/0152/index.html
「西日本やきとり祭り」の詳細：
https://nanavi.jp/events/nishinihonyakitorimatsuri_nagato/

3. 登録の申請の公示について

令和6年9月3日に、「泉州水なす」「かつの牛」の登録の申請の公示を行いました。

地理的表示法に基づき、登録の申請があったときは、農林水産省ホームページ内で「登録の申請の事実の公示」を行います。
申請については必要に応じて補正を求め、補正が行われると、「登録の申請の公示」を3か月間行います。この公示期間はどなたでも、公示内容について意見書を提出することができます。
申請の公示期間終了後、申請産品は、学識経験者の意見聴取を経て、登録の可否が決定されます。

公示等情報の詳細、現在申請の公示中の産品については、以下のホームページからご確認ください。
(URL) https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/notice/index.html

編集後記

私は、今年の7月より他省庁から出向し、現在の部署で地理的表示（GI）制度の活用や普及等に関する業務を行っています。
出向元でも知的財産に関する業務を行っていたのですが、今回、農林水産分野における知的財産としてのGI制度に携わる機会をいただき、勉強になる毎日をお過ごしています。

私は国内旅行が趣味なのですが、日本各地にはその地域ならではの自然や文化が存在し、地域特有のものがたりがあると魅力を感じています。まさに、GI制度は、そのような地域に根差した魅力的な産品を保護するものであり、地域と結び付いた産品の品質、製法、評判、ものがたりなどの目印として、ブランド価値を守っていくことのできるものです。